

# メロングリソディン

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2011年11月24日号
-----	----------	-----	--------------

タイトル	「特集 内外美容に役立つ健康食品素材」
------	---------------------

ニュートリション・アクト

## 「メロングリソディン」

### 食べてUVケア実現

健康食品として摂取し内面からUVケアを図れる素材が「メロングリソディン」だ。健康食品・化粧品 OEM 製造や、素材の輸入販売などを行うニュートリション・アクト（本社東京都、石川雅仁 CEO、☎03-5475-7313）が提案している。150人を対象にした臨床試験などで効果を確かめている。メロングリソディン

は、南仏産メロン由来のSODを小麦たんぱく質で結合する特許製法で製造されており、体内のすべての抗酸化酵素（「SOD」「グルタチオンペルオキシターゼ（GPX）」「カタラーゼ」）を活性化することで、体の抗酸化能を全体的に高めるといふ独特の誘導メカニズムを持つことが、各種試験で確かめられている。スキントイプⅡの健常

者で実施した無作為化二重盲検試験で、1日500mgのメロングリソディンまたはプラセボ（偽薬）を4週間摂取してもらったところ、メロングリソディン摂取群のMED（肌を紅斑させるのに最低限必要となる紫外線量）がプラセボ群の8倍に増加し、同素材が紫外線の影響を大幅に抑制することが示された。

フランス皮膚科医40人の協力を得て、150人の男女（女性120人）を対象に臨床試験も行っている。

メロングリソディンを15日間摂取した後、摂取を続けながら2カ月間バカンスに行ってもらい、

その後の日焼けの状況を検証した。

その結果、82・0%の被験者に炎症、発疹などの日焼け症状に対する改善作用がみられ、さらに約6割の患者に、その他のQOLの改善が感じられたという。